

# 月刊島民

橋を渡る人の「街事情マガジン」



中之島

Vol.125 2018.12/1

●iPadサイズ(と、ほぼ同じ)



ナカノシマ大学

「大阪24区物語

①上町台地編」

本渡 章

申し込み受付中!

大阪中之島美術館  
コレクション

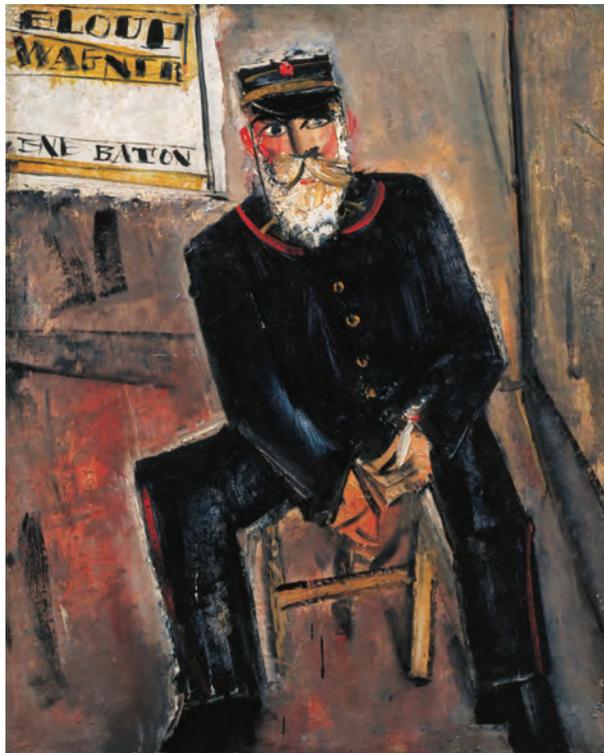
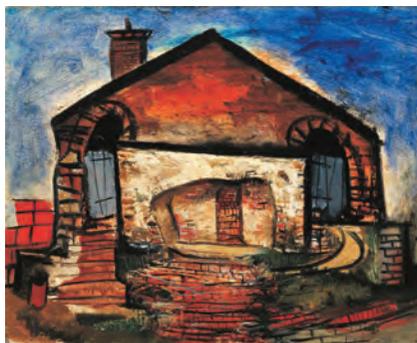
# 美術館コレクション

見よー!

## 佐伯祐三「煉瓦焼」

1928年 ■ 油彩・カンヴァス・60.2×73.1cm

佐伯はパリでの創作に満足せず、パリ近郊のヴィリエ＝シュル＝モラン村に滞在。田舎の素朴な建物や自然を題材に一連の作品を生み出した。《煉瓦焼》は滞在の終わりに描かれた傑作。田舎の薄汚れた煉瓦焼場は、黒く太い輪郭や奇妙に至んだ扉の表情、そして印象的な美しい色彩表現により、神秘的な輝きを放っている。



## 佐伯祐三「郵便配達夫」

1928年 ■ 油彩・カンヴァス・80.8×65.0cm

1928年3月、パリ。床に伏せていた佐伯の家に、偶然訪れた白ひげの郵便配達夫。30歳でこの世を去った、画家の人生最後にして最高のモデルとなり、その創作意欲を掻き立てた。濃紺の制服に身を包んで椅子に腰掛けた郵便配達夫は、片手にタバコを持ち正面を凝視している。斜め左上から右下へ、佐伯が渾身の力を込めた筆の運びが心に迫る。

佐伯祐三作品の寄贈をきっかけに広がったコレクションの礎。

## 日本近代美術

佐伯祐三作品の寄贈を原点とする大阪中之島美術館の出発点。現在までに岸田劉生、小磯良平や福田平八郎など、明治から昭和初期の日本の芸術家による優れた作品を所蔵。ちなみに、佐伯の作品は、寄託を合わせて61点と日本最大級である。また、公立美術館として、大阪ゆかりの芸術家、近代大阪の美術界に関する調査研究も行う。「大阪の美術」の豊かさ、作家や作品の価値を後世に伝える役割も担っていく。

## 不思議な縁によって 新美術館の構想が動き出す。

大阪市に新美術館構想が浮上したのは昭和58年（1983）。大阪の実業家であり、美術コレクターでもあった山本發次郎の遺族から大阪市に、大阪出身の天才画家・佐伯祐三（1898～1928）の代表作31点を含む574点を寄贈されたのがきっかけだった。大阪中之島美術館準備室室長の菅谷富夫さんは言う。

「時を同じくして、中之島にあった大阪大学医学部の跡地利用について議論が持ち上がっていました。さらに、1989年は大

## 大阪中之島美術館です。 よろしくお願ひします!

新しい美術館は、「大阪と世界の近代・現代美術」をテーマに2021年度の開館を予定している。コレクションは洋画、日本画、現代美術、版画、写真、彫刻、デザインなど幅広い領域にわたる。これまで「仮称」だった美術館の正式名称は、今年6月から7月にかけて公募が行われ、1681件の案の中から決定。「中之島を拠点に大阪の魅力の世界に発信する美術館として（中略）市民のみならずははじめ多くの方々から将来にわたって愛される名称となるように」との願いが込められている。「中之島」が名前に入ったことは、島民としては嬉しい。ちなみに、名称選定に当たっては有識者4名による委員会が開かれ、本誌編集・発行人の犬迫も末席に加わった。そこでの検討結果を踏まえ、大阪市長によって決定された。



中之島にできる新しい美術館の名前が「大阪中之島美術館」に決定した。開館は2021年度とまだ先ではあるが、楽しみは長く味わう方がいい。世界に誇る約5,600点のコレクションと収集の歩みを併せてご紹介しよう。

取材・文／杉本恭子 取材協力・写真提供／大阪中之島美術館準備室

# 大阪中之島



## 小出楯重「菊花」

1926年 ■ 油彩・カンヴァス・105.5×55.0cm

1887年、現在の大阪市中央区長堀橋筋に生まれた小出楯重は、関西を拠点に活躍し、仲間の画家とともに信濃橋洋画研究所を設立した。八角変形の大画面に、肖像画のように大輪の菊を配した《菊花》は、自然界に打ち満ちた「生命」が爆発するかのよう描かれている。昭和6年(1931)、芦屋の自宅で43歳の生涯を終える。



## 北野恒富「涼み」

1926年 ■ 絹本着色・132.8×85.5cm

1881年石川県生まれ。大阪を代表する美人画家であり、大阪画壇のリーダー的存在だった。大正時代は「画壇の悪魔派」とも称され、頹廢的で妖艶な女性像を描いたが、昭和に入ってから古典主義的な洗練された作風を展開。橋の欄干にもたれて夕涼みする振袖姿の女性を描いた《涼み》はその転換期にあたる作品。線描の美しさが際立ち、気品にあふれている。



## 岸田劉生

### 「静物(湯呑と茶碗と林檍三つ)」

1917年 ■ 油彩・カンヴァス・38.0×45.5cm

1891年東京生まれ。描かれているのは、机の上に置かれた三つのりんごと茶碗と湯のみ。ごくありふれた静物だが、写実を極めた画面には異様な緊張感がみなぎる。肺結核と診断され、屋外での制作が満足にできず、やむを得ずに取り組んだ題材で秀作を生み出した。

## 収集のプロセスで見えてきた大阪の美術界の豊かさ。

いよいよ始まったコレクション収集においては、美術史の流れがわかるようにすることを重視。各時代の代表的作品が揃えられていった。また、コレクションの原点にある佐伯祐三の作品を知る人たちから同時代の作品も寄贈された。

日本近代美術では、明治から昭和初期に活躍した芸術家の作品が集められた。小出楯重、赤松麟作、北野恒富など大阪ゆかりの作家の作品も意識的に集められた。「一

阪市制100周年。記念事業の検討がはじまる時期でもありました。素晴らしい美術品コレクションと美術館を建てられる土地、そして市制100周年というお祭りの重なりに合ったことにより、新美術館の構想は動き始めた。

大阪市制100周年記念事業に位置づけられたことで、新しい美術館の構想に「今の大阪に必要な美術館とは？」という大きな視点が加わった。大阪市の美術館としては、当時すでに天王寺の大阪市立美術館と同じ中之島の東エリアには東洋陶磁美術館があった。日本と東洋の古美術に強い市立美術館、中国・朝鮮・日本の陶磁器を扱う東洋陶磁美術館にないものとは。「そこで大阪にはまだない、近代・現代の美術に焦点を当てた美術館をつくるという話に着地したわけです」(菅谷さん)。

## ウンベルト・ボッチョーニ 「街路の力」

1911年 ■ 油彩・カンヴァス・99.5×80.5cm

1882年、イタリアのレッジョ・カラブリアに生まれる。20世紀初頭の美術に革新をもたらした未来主義の理論を中心的に担う。人口光が射る都会の喧噪、路面電車のスピード感を描く「街路の力」は、まさに未来主義の理論を絵で表している。幾何学的な形で構成された画面、紫を基調とする繊細な色調は画家の卓越した技量を示す。

美術史の流れを大阪で目の当たりにできる名作が揃う。

## 西洋近代美術

世界に誇るモディリアーニの裸婦像のほか、パスキン、キスリング、ブランクーシなど、佐伯祐三が晩年を過ごした頃に活躍したエコール・ド・パリの充実したコレクションは国内外に知られている。また、フォーヴィスム(野獣派)、キュビズム(立体派)、ダダ、シュルレアリスム、未来主義、構成主義など、20世紀前半のヨーロッパを中心に展開した、前衛的な芸術潮流を語りうる作家の代表作を所蔵している。



## アメデオ・モディリアーニ「髪をほどいた横たわる裸婦」

1917年 ■ 油彩・カンヴァス・60.0×92.2cm

1884年、イタリア・リヴォルネノ生まれ。1906年、パリに移り、エコール・ド・パリの芸術家たちと交わる。憂いのある肖像画で知られるが、1917年頃は集中的に裸婦を描いていた。祖国イタリアの美術の伝統を受け継ぎながら、絵から物語性を排除して女性のフォルムや肉体美に専念している。1917年、生涯唯一の個展にも出品されたと言われる。

一般的には、「大阪画壇」なんてなかったと思われていますが、当時の大阪には洋画・日本画それぞれに研究所や画塾もあり、成果をあげていました」と菅谷さん。例えば、大阪画壇のリーダーの一人だった北野恒富は画塾を主宰。昭和初期に大阪で活躍した女性画家たちの育成にも力を傾けていたという。

「大阪の視点でものこることを考えることによって、新しい価値観を創造することも活動目標の一つ。従来の美術史では当然とされてきたことも、大阪から見れば違って見えてくるはず。それは大きな美術史の書き直しにもつながっていくかもしれません」。

**なんと言っても花形！  
西洋近代美術。**

大阪中之島美術館の花形といえば、やはり西洋近代美術のコレクションだ。準備室研究副主幹の小川知子さんは、「アメデオ・モディリアーニの『髪をほどいた横たわる裸婦』のように日本唯一の作品もあります。西洋近代美術の展示室だけでも満足していただけるのでは」と話す。ちなみにこのモディリアーニの裸婦像も、かつて山本發次郎氏が所有していたもの。一旦、別の人の手に渡ったのち、大阪市が取得した。「裸婦は目を逸らしている絵が多いけれど、ハッキリと明るい表情で、『見て！』とこちらへ訴えかけるポジティブな感じがあります。主体的で力をもたえる、この絵を見るために来るお客さん多いと思います」と

## 今まで長かった…美術館整備計画

- 昭和58年(1983)8月 ■ 大阪市制100周年記念事業基本構想の1つ(近代美術館の建設)
- 昭和63年(1988)11月 ■ 近代美術館構想委員会発足
- 平成元年(1989)4月 ■ 大阪市美術品等取得基金設置(基金額30億円)
- 12月 ■ 近代美術館構想委員会(近代美術館構想に関する答申)
- 平成2年(1990)1月 ■ 近代美術館美術資料収集審査委員会設置
- 1月 ■ 近代美術館美術資料評価委員設置
- 11月 ■ 近代美術館建設準備室設置
- 平成3年(1991)11月 ■ 近代美術館基本計画委員会発足
- 平成8年(1996)5月 ■ 大阪大学医学部跡地の埋蔵文化財調査を実施し、船入遺構の石垣の列等を確認
- 平成10年(1998)3月 ■ 近代美術館基本計画委員会より、「近代美術館基本計画」の答申を受ける
- 10月 ■ 近代美術館建設用地として、大阪大学医学部等跡地のうち、南半分8,000平米を購入
- 平成13年(2001)2月 ■ 大阪大学医学部等跡地船入遺構の現地説明会を実施
- 平成14年(2002)3月 ■ 埋蔵文化財現地調査終了
- 平成15年(2003)2月 ■ 北半分8,035.22平米を国から購入
- 平成16年(2004)10月 ■ 「心斎橋展示室」開設
- 平成21年(2009)5月 ■ 「近代美術館あり方検討委員会」設置
- 平成22年(2010)1月 ■ 近代美術館あり方検討委員会より提言受理
- 11月 ■ 「大阪市立近代美術館整備計画(案)」発表
- 11月 ■ 近代美術館整備の妥当性について大阪市政評価委員会へ意見を求める
- 平成23年(2011)5月 ■ 大阪市政評価委員会から大規模事業評価の「最終とりまとめ」を受ける
- 平成24年(2012)11月 ■ 「心斎橋展示室」閉館
- 平成25年(2013)2月 ■ 中之島に新しい美術館を整備することを、戦略会議で決定
- 4月 ■ 近代美術館建設準備室設置要綱を廃止し、大阪新美術館建設準備室設置要綱を制定
- 6月 ■ 市立美術館と新美術館の「建物の統合」は行わず、東洋陶磁美術館を含めた3館について「経営統合」をめざすことを戦略会議で決定
- 平成26年(2014)4月 ■ 戦略会議において「新美術館整備方針(案)」の内容を確認
- 9月 ■ 「新美術館整備方針」を策定
- 平成28年(2016)3月 ■ 施設整備は公共で実施し、運営にPFI手法を導入する方針を決定
- 平成29年(2017)2月 ■ 公募型設計競技(設計コンペ)により設計者(遠藤克彦氏)を選定
- 9月 ■ 基本設計業務完了
- 平成30年(2018)10月 ■ 美術館の名称が公募により「大阪中之島美術館」に決定
- 11月 ■ 大阪新美術館建設準備室を大阪中之島美術館準備室に改称



## アンドレ・ドラ 「コリウール港の小船」

1905年 ■ 油彩・カンヴァス・54.0×65.0cm

1880年、フランスのバリ近郊シャトゥー生まれ。フォーヴィスム(野獣派)から構成主義やキュビズム、古典主義へと大きく作風を転換したドランの、短くも充実した野獣派時代の貴重な作例。パレットで絵の具を混ぜない、チューブから出したままの色使いは当時画期的だった。筆跡の間に残る白い地塗りのカンヴァスが原色の明るさを引き立てている。



小川さん。

菅谷さんが準備室に着任した平成4年(1992)当時は「今に比べればいい時代だった」と振り返る。「作品はまだマーケットにあり、価格も今の約10分の1」だったからこそ、ウンベルト・ボッチョーニの「街路の力」などの名品を購入することもできたのだ、と。

「今でも年数回はうちのコレクションから海外への貸し出しを行っています。その作品がないと展覧会が成立しない、そういう作品があるからです」と菅谷さん。アメリカのニューヨーク近代美術館、グッゲンハイム美術館、フランスのポンピドゥー・センター、イギリスのテートモダン……世界の名だたる美術館に展示されてきた輝かしい実績がある。「アメリカ、ヨーロッパの人たちしてみると、『なぜこんな名作が大阪にあるんだ?』と驚いているでしょうね」(菅谷さん)。

## 大阪の美術館ならではの デザイン関連のコレクション。

大阪といえば商業都市であり産業都市でもある。そのど真ん中に生まれる美術館に、大阪らしい特色を添えているのが、近代デザインのコレクションだ。

「もちろん大阪には過去も現在も伝統工芸の作家はいます。しかし、すぐれた工芸作品を収集する美術館は、東京や京都にすでにある。そこで産業都市大阪にふさわしい分野として近代デザインが設けられまし



## 倉俣史朗「ミス・ブランチ」

デザイン=1988年／製作=1989年 ■アクリル、造花、アルミパイプ・87.5×62.0×60.0cm  
1934年東京生まれ。家具デザイナー、店舗・インテリアデザイナーとして、1960年代半ばから日本国内外で活躍。斬新で繊細な作品は、美術作品として評価された。造花の赤いバラをアクリルに閉じ込めたこの椅子は、晩年の代表作。座るといふ機能をぎりぎり残し、透明アクリルという素材を大胆に使うことで、重力から解き放たれた「浮遊」のイメージを提示。

商都の歴史が垣間見える質・量共に豊かなコレクション。

## 近代デザイン

19世紀後半のアーツ・アンド・クラフツ運動から、アール・ヌーヴォー、20世紀のウィーン工房、デ・スティール、バウハウス、北欧のアアルトなど、西洋近代の芸術思潮とともに広がった近代デザインの流れを示す家具や食器などの作品を所蔵。2012年、サントリーポスターコレクション（約18,000点）の寄託を受けたことにより、世界と日本のグラフィックデザインのすぐれた作品群が加わった。

## アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック 「ディヴァン・ジャポネ」

1893年 ■リトグラフ（サントリーポスターコレクション）  
フランス・アルビ生まれ。トゥールーズ＝ロートレック家は伯爵の家柄。8歳で絵を描き始めた。本作は、「ディヴァン・ジャポネ」というナイトクラブを宣伝するポスター。モンマルトルの3人を描く。ダンサーのジャンヌ・アヴリルと作家エドゥアール・デュジャルダンが、歌手イヴェット・ギルベールの舞台を見ているようすが描かれている。



## ヘリット・トーマス・リートフェルト「肘掛け椅子」

デザイン=1918年／製作=1919～1921年頃 ■  
ステイン塗装されたバーブルハート・74.5×65.0×65.5cm  
1888年、オランダ・ユトレヒト生まれ。12歳より父親の工房で家具職人の修業を積む。この肘掛け椅子は、20世紀を代表する前衛芸術運動「デ・スティール」の思想、そしてモダンデザインを象徴する椅子として、デザイン史に不動の地位を築いた。ユトレヒトの建築家の注文を受けて製作した2脚の内の1脚で、もう1脚は現在、ロンドンのヴィクトリア&アルバートミュージアムに収蔵。



## 戦後から現在まで、 新しい美術の潮流を追い続けて。

現代美術においては、19世紀後半から21世紀までの美術とデザインを中心に扱う。ジャン・ミシェル・バスキアやアルベルト・ジャコメッティなどの海外作家の作品、森村泰昌など関西を拠点にしながら国際的に活躍する画家の作品もまた重要なコレクションだ。

中でも、前衛美術グループ「具体美術協会」（具体）はコレクションの柱の一つで、

「菅谷さん。今後、家電のアーカイブ、住宅メーカーとの連携による調査研究なども行う予定だ。

準備室の発足当時は、世界的なポスターコレクション「グランヴェイルコレクション」を所蔵するサントリーミュージアム「天保山」の存在を意識して収集を行ったという。「同じ街の美術館が、非常に質の高いコレクションを持っているなら、同じジャンルのもを集めても仕方ないですから」。このためアール・ヌーヴォーやバウハウス、ウィーン工房など、近代デザインを代表する家具や陶器など、プロダクトを中心にコレクションを充実させていくことになった。ところが、2010年12月にサントリーミュージアム「天保山」は休館。そのポスターコレクション約1万8000点は大阪中之島美術館に寄託されることに。結果として、近代デザインコレクションは世界的規模に達した。

やすまさ  
森村泰昌

「肖像(ファン・ゴッホ)」

1985年 ■ カラー写真プリント・  
120.0×100.0cm

1951年、大阪市生まれの現代美術家。「耳切り事件」の後のゴッホの自画像を、かなり忠実にまねた本作は、作家による「なりきり」写真作品。背景や衣装を忠実に再現してセットに収まって撮影されている。「ゴッホの自画像」でありながら、森村泰昌の自画像でもあるという不思議な作品は、森村の代名詞ともなった「セルフ・ポートレート」作品の第一作。



しらぎ  
白髪一雄「ミスターステラ」

1958年 ■ 油彩・和紙、カンヴァス・182.5×272.8cm

1924年、兵庫県尼崎市生まれ。天井に吊り下げたロープにつかまって素足で描く「フット・ペインティング」で知られる。本作はカンヴァスに和紙を貼った上に足で描画された。作品タイトルはアメリカの現代美術作家フランク・ステラにちなむ。1950年代から「具体」に参加。「フット・ペインティング」以外にも泥の中に飛び込んで格闘したり、円錐状に立てた丸太を斧で切りつけた、身体の痕跡を残す作品で知られる。



絵画から立体作品まで。中之島ゆかりの「具体」の作品も。

## 現代美術

第二次世界大戦後から今日に至るまでの代表的な日本人作家、アメリカの抽象表現主義やミニマル・アート、ヨーロッパから国際的な広がりを見せたアンフォルメル、アルテ・ポーヴェラなど、個性的な創作で時代を築いた海外作家の作品を所蔵する。関西を拠点に活動するアーティスト、海外で活躍する日本の現代作家の作品も収集。

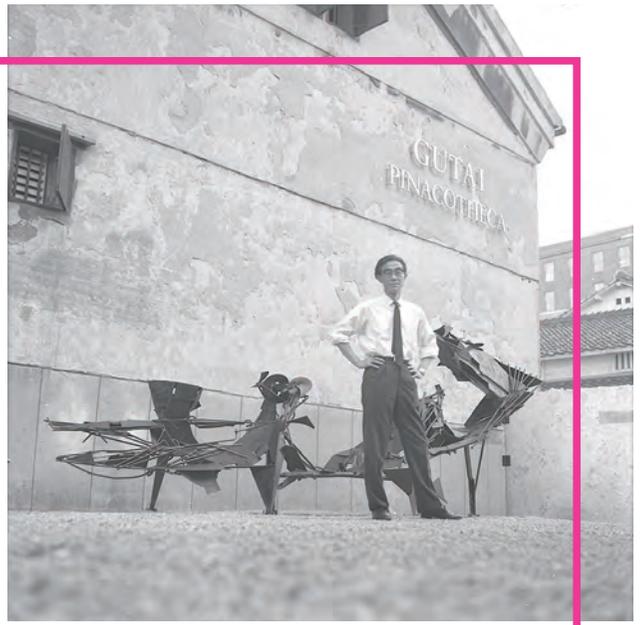
「具体」のリーダー・吉原治良しろうらの作品・約800点は世界最大数。また、吉原以外のメンバーによる作品も約100点を所有する。関連資料の寄贈も受けたことから、近年国際的な関心を集める「具体」の研究と発信の拠点となるべく、アーカイブ構築も進めている。「具体」の作品や活動を紹介する「グタイピナコテカルーム」が設けられる。

### 紆余曲折の30年を超えて、ついに開館カウントダウン！

ここまで読んで「なぜ開館まで30年もかかったの？」と疑問に思う人もいるかもしれない。確かにそうなのだ。準備室が立ち上がったのは平成2年(1990)。平成10年(1998)には基本計画が発表され、大阪市は阪大の跡地を購入している。しかし、大阪市の財政悪化などを理由に計画はずるずると延期。優れたコレクション作品を有し、海外への貸し出しなどの実績も積み重ねながら、なかなか大阪市民に見てもらえないジレンマを抱えてきた。

しかし、「悪いことはかりでもない」と小川さんは言う。「この20年ぐらいいの間に、日本の美術館像も変わってきています。今ならアーカイブ作成や企業連携など、新しい美術館の役割を担える位置からスタートできますから」。

紆余曲折を経て、いよいよ大阪中之島美術館の開館まであと3年。佐伯祐三に、モディリアーニに会える日はもう遠くはない。



グタイピナコテカの前に立つ吉原治良。

## 「具体」的な話

— 吉原治良と中之島 — 文/大迫力(本誌)

しく指導。その拠点として中之島にオープンしたのが「グタイピナコテカ」だった。

吉原家の所有する土蔵を展示施設として改築したもので、現在は三井ガーデンホテル大阪プレミアが建つ場所にあった。ここでは会員の作品展を定期的に開催するだけでなく、海外作家の展覧会も行っなど、当時の大阪における現代美術の発信拠点としての機能も果たしていた。国内外の美術家や評論家も頻繁に訪れ、吉原をはじめとする具体の会員たちと活発な交流が行われていたようだ。

田嗣治との出会いなどを経て作風をさまざまに変化させながら、やがて戦前の抽象美術をリードする存在になっていった。戦後、昭和29年(1954)に「具体」を結成するとリーダーとして若い芸術家たちを厳

格な建設も計画していたというが、実現されることはなかった。

吉原の死から約半世紀、2021年度に開館する新しい美術館には、グタイピナコテカルームができる。生涯、オリジナリティを追求し続けた吉原の独創でさえ、同じ中之島で作品が再び人々の目に触れるようになる未来を想像できただろうか。

具体美術協会(P7)の創始者であった吉原治良は、中之島と浅からぬ縁で結ばれている。

明治38年(1905)生まれの吉原の生家は淀屋橋南詰にあり、「吉原商店」という植物油問屋を営んでいた。その後、御堂筋の拡幅工事のために吉原商店は中之島3丁目へ移転する。

北野中学(現北野高校)時代に絵に目覚め、独学で学びを深めていった吉原は、23歳にして初の個展を開催。藤



グタイピナコテカの展示室(上)とロビー(下)。具体美術協会発行パンフレット(1962年、PP.4-5)より転載

オープンまで待てない!

コレクションはここで楽しもう。

### ■大阪中之島美術館webサイト「Artrip Museum」

今回掲載している作品をはじめ、選りすぐられた30点の作品をじっくり見られるwebギャラリー。作品を拡大して見られ、詳しい解説が読めるほか、同じ作家の作品リストなどもあり、コレクションを概観するには十分なボリューム。開館まではこちらで予習しておこう。  
<http://www.city.osaka.lg.jp/contents/wdu120/artrip/>



### ■トークイベント

### 「美術資料アーカイブの現在 — 美術家を知る手がかりとして —」

具体美術協会の中心的な作家・白髪一雄(P7)と、作家を知る手がかりとなる美術資料アーカイブについて、大阪中之島美術館の学芸員・松山ひとみさんを含む4人のパネリストが語り合う。

日時 / 12月9日(日)

2:00PM~3:30PM(1:30PM開場)

会場 / 尼崎市総合文化センター 7階 第2会議室

定員 / 100名(申し込み不要)

参加料 / 無料



◎今月の授業

# 【大阪24区】

2019年1月講座

## 「大阪24区物語」

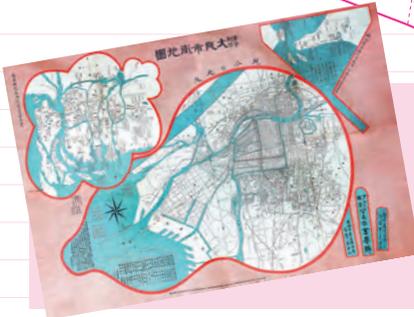
### ①上町台地編

講師／本渡 章(作家)

いつからある？ 名前の由来は？  
身近なのに意外と知らない、  
「区」から見直す24の大阪史！

大阪市内を分ける24の「区」は、住む人にとっても働く人にとっても一番身近な行政単位であり、生活の根っこ。にもかかわらず、あまりなじみがないという人も多いのでは。さまざまな経緯を経て、今の形になった大阪24区。その歴史を紐解けば、大阪の街の発展や地形の特徴など不可分であることがわかる。

各区の歴史を訪ねるのは、古地図講座でおなじみの本渡章さん。第1回のテーマは大阪の「背骨」とも言える、上町台地とその東西にある9区。地形、川、街道などの変遷とともに、3つのエリアと9区の個性がいつどのように生まれたのかを明らかにする。



◎今月の1枚

### 「古今対照大阪市街地図」

(大阪市立中央図書館蔵)

明治41年(1908)発行。古代(左上)・中世(右上)・近代(中央)の3つの顔の大阪を一枚に収めた時間地図。千数百年にわたる地形の変遷を想像力たっぷりに描き、近代大阪の成り立ちまでが一望できる。歴史への好奇心全開の快作だ。

### 「大阪24区物語 ①上町台地編」

日時／2019年1月30日(水)

7:00PM~8:30PM頃(開場6:30PM~)

会場／大阪市中央公会堂 小集会室

受講料／2,500円

定員／80名

主催／ナカノシマ大学事務局

お名前・ご住所・電話番号・人数・講座名を明記の上、下記までハガキ、ファックス、もしくはHP内の応募フォームからお申し込みください。複数名でご参加希望の場合、ハガキ、ファックスについては、人数分の必要事項を明記してください。

〒530-0047 大阪市北区西天満2-6-8 堂島ビルディング602号

「ナカノシマ大学1月講座」受付係 FAX.06-6484-9678

※先着順で受付後、12月20日前後より受講票をお送りします。

※受講料は講座当日に受付にてお支払いください。

※定員に達した時点で申し込みは締め切らせていただきます。

※当日のお車ならびに自転車でのご来場はご遠慮ください。

ナカノシマ大学の最新情報は

<https://nakanoshima-daigaku.net/>

ケータイや  
スマホからは  
こちら→



お問い合わせ  
☎06-6484-9677  
(ナカノシマ大学事務局)

## 十一月席のご案内

申込受付中

●お題「天神さん」

# 「天満の天神さん」

今年ラストの天神寄席は、菅原道真公や大阪天満宮にまつわる嘸と、上方落語界をにぎわせた新顔が勢ぞろい！

鼎談には6月に上方落語協会の新会長に就任した笑福亭仁智さんが初登場。ゲストに4月に大阪天満宮の新宮司に就任した寺井種治さんをお迎えして、まさに2018年の締めくくりにあふさわしいラインアップ。終い天神の日に、1年を振り返りながら大いに笑おう。

落語／桂恩狸「狸賽」

桂阿枝「初天神」

笑福亭たま「菅原君の祟り」

桂雀三郎「質屋蔵」

桂春團治「天満の白狗」

鼎談／新宮司と新会長が語る

ゲスト／寺井種治(大阪天満宮宮司)

高島幸次(大阪大学招聘教授)  
笑福亭仁智(上方落語協会会長)

鼎談ゲストは、天満宮よりも古い歴史を受け継ぐ寺井家の寺井種治さん。



鼎談のお相手には、新作落語さながらのトークも面白い笑福亭仁智さん。

ナカノシマ大学でお得な前売り券を発売中！

開催日／12月25日(火)

開演時間／6:30PM(開場6:00PM)／受付開始5:45PM)

受講料／2300円(通常・前売2500円)／当日3000円)

お支払い方法／当日(5:45PM)、繁昌亭入口付近の「ナカノシマ大学受付」にてお支払いください。

※予定枚数に達し次第、予約受付を終了します。※ナカノシマ大学では当日券の販売は致しません。

●お申し込み方法、お問い合わせ先はP9を参照してください。



トリは2月に四代目を襲名した桂春團治さん。天満宮の境内に住む不思議な白犬の話。

イラスト／フジワラトモコ

## 十月席のご案内

御衆揚御礼

鼎談「ほろ酔い・酩酊・二日酔い」

辰馬宗満子(白鷹蔵元) 高島幸次 笑福亭福笑

高 今日辰馬さんにお越しいただき、お酒にまつわる嘸を集めました。辰 落語を聴くと江戸時代から昭和初期頃のお酒の飲み方が非常に勉強になります。「青菜」に出てくる「柳蔭」というお酒がどんなものかわからなかったんですが、今日は桂雀太さんが解説してくださいました。

福 嘸家によって解説しない場合もありますね。辰 調べてみると、焼酎と味噌を1対1くらいで割ったものだそうです。高 もししかして作って見たことがあるんですか？辰 はい！お酒の量によつて甘みを調節しました。かなり度数が高いので、私はロックで飲む方がいいと思います。落語の中の人はそのまま飲んでるんでしょうけど。福 へえ。美味しいのかな？

高 福笑師匠はお酒…すうんですか。高 なんちゅうことを言

# ナカノシマニア

取材文／中島淳丞記

## 客

は立ったまま磨き台に足を置き、ボーイが背中を丸めて黙々と……。映画に登場する「街頭の靴磨き」はそんなイメージ。でもここでは椅子に座って所定の場所に両足を置く。磨く方は仕事がいやすく、客もくつろげる。

【THE SHOESHINE GUILD OSAKA】

は9月に北新地で開業したばかりの靴磨き屋さん。磨いてもらっている間、新聞を読んでもスマホを触っても自由だが、店主の大岡辰徳さんの手際の良さと、みるみる美しくなる靴を見ずに10分間を過ごすのはもったいない。

まず水に軽く浸した布で丁寧に汚れを取っていく。それを何度か繰り返した後で、靴に潤いを与え、クリームを全体になじませ、それを拭き取ってから靴に合った靴墨をまんべんなく伸ばして塗っていく。「靴墨の色を混ぜることで、どんな色の靴にも対応できます」。

最後は軽く湿らせた布を両手に持って、靴の甲部分を叩くように仕上げるバフイング (buffing)。パン、ボンと音が心地よい。「クリームを馴染ませるけど余分なクリームは取る。【SHOESHINE GUILD】ならで

はのやり方です」

大岡さんはネクタイをきちんと締め、スリーピースの上着代わりにギルドのエンブレム付きのコートを着てスタンバイ。キャップを被ったオーバーオールシューズインボーイとは違う。あれだけ靴墨を素手で触っているのに手も服も汚れていない。「磨いていると手もきれいになってきます(笑)。汚れるのは仕事ぶりが未熟だからですね」

## 靴

を初めて磨いたのは7年前、27歳の時。シャツのアイロンは自分でかけていたのに、それまでは「靴を磨くことの意味がわからなかった。でも人と会う、仕事をする前の大事な準備の一つですよね」。お客さんの依頼もあり、靴磨きの店を立ち上げる。転機は2016年、阪急うめだ本店の

修業し、アメリカ流で再スタートした。帰国後は南船場のセレクトショップの一角を借りて営業。ある日、別の店に出張に行くとお客さんに「千房」の

# 北新地にNY仕込みの靴磨き職人がいた。

NYフェア。それまでも【SHOESHINE GUILD】のテクニクを紹介する動画を何度も見ていたが、動画の本人が会場に。ぜひ教えてほしいと頼んだらすぐに渡米しなさい。2ヶ月半NYで

営業本部長がいた。懇意になった大岡さんが「駅から近いところでやりたい」と切り出したところ、「じゃあ北新地の店の前は？」。本部長はその場で社長の中井正嗣さんに電話を入れ、即決。

はしばらく靴磨きが不在だった。客にとってもお店の人にとってももったいない話だ。「今のところ北新地に『お客』として来られる方ばかりなのですが、働く人の靴も磨きたいですよね」



右／巨人・原監督好きの父にタツノリと名付けられたが、阪神ファンが多い新地で大丈夫？「僕もどちらかというと虎ファンです(笑)」。左上／仕上げのバフイング。「従来のやり方はクリームを取りすぎてしまうんです」。塩梅が命なのだ。左下／御堂筋の永楽町通に入る角に看板が。

## THE SHOESHINE GUILD OSAKA

靴はスムースレザーのみ。一足1,280円+チップ。「チップ」は20円でも220円でも720円でも、もちろんそれ以上でもOK。チップ込みでも北新地のパーならハイボール一杯分。そう考えればリーズナブルな値段だけど、見違えるほどキレイになったこの靴で「このまま帰ってなるものか」という気になってしまうのが悩ましい。御堂筋から永楽町通を西へ入ってすぐ。梅新ビルの【千房梅新支店前】にて営業中。

☎090-1322-2512 12:00PM頃～9:00PM 土・日・祝&雨天時休

# トウミン月報

2018年12月1日発行



©大阪・光の饗宴実行委員会

今年もいよいよ大阪・光の饗宴2018がスタートする。中之島やその周辺が光り輝くイベントの今年の見どころを、紹介しよう。

中之島で行われるOSA K A光のルネサンス2018では、開館100周年を迎えた大阪市中央公会堂と大人気の「ウォールタペストリー」がコラボ。光のアートが美しく中央公会堂のメモリアルイヤーを祝う。また、昨年に引き続き「光の文化交流」をテーマにしたプログラムでは、台湾の元宵節を祝って約1000個の特別なランタンが夜空を照らす。



©Festival of the Lights in Osaka Executive Committee

OSAKA光のルネサンス2018 日程／12月14日(金)～12月25日(火) 時間／5:00PM～10:00PM(一部コンテンツは4:00PM～)

場所／大阪市役所周辺～中之島公園 ※各プログラムの詳しい開催日程や時間などはホームページなどで確認を

## 大阪・光の饗宴2018 今年の注目ポイントとは？

中之島の西エリアでは、こちらもおなじみとなった水と光のエンターテインメントショー「中之島ウォーターファンタジア」を開催。周辺には



### シンポジウム「クリエイティブ・アイランド —創造的都市の本質とは何か—

日時／12月16日(日)1:30PM～4:30PM  
会場／アートエリアB1 定員／100名  
入場料／無料(要事前申込・先着順)  
ゲスト／(第一部:基調講演)ドリュン・チョン(M+副館長兼チーフ・キュレーター)  
(第二部:ディスカッション)植木啓子(大阪新美術館建設準備室 研究副主幹)、大谷煥(NPO法人 DANCE BOX 理事長)、加藤好文(京阪ホールディングス株式会社代表取締役社長)、ドリュン・チョン、西尾章治郎(大阪大学総長)、西野達(アーティスト)  
モデレーター／河島伸子(同志社大学経済学部教授)  
総合司会／木ノ下智恵子(アートエリアB1 運営委員)

### クリエイティブ・アイランド・ラボ 中之島

「森村泰昌の『映像—都市—論—  
—上映とトークによって、大阪を読み解く—」  
日時／12月7日(金)7:00PM～8:30PM  
会場／大阪市中央公会堂 中集会室・特別室  
入場料／一般:前売1,500円、当日2,000円  
学生:前売1,000円、当日1,500円  
定員／150名(要予約・先着順)  
登壇者／森村泰昌(美術家)、卯城竜太(アーティスト／Chim ↑ Pom)、高岡伸一(建築家／近畿大学建築学部准教授)  
司会進行／木ノ下智恵子

◎【同日開催】橋爪節也氏による「アートでひもどく中央公会堂の100年」企画展ツアー  
12月7日(金)5:30PM～6:00PM

◎詳細・申し込み方法などはいずれもアートエリアB1ホームページにて、<http://artarea-b1.jp/>  
☎06-6226-4006(12:00PM～7:00PM)／月曜休(祝日の場合翌日) ※12月30日～1月7日は休館

よく知られたように、中之島には美術館や博物館、音楽ホールや図書館など、さまざまな文化・芸術関連の発信拠点が集まっている。その一翼を担う京阪電車なわ橋駅のアートエリアB1が、新たなプロジェクト「クリエイティブ・アイランド・ラボ(中之島)」をスタートさせた。

同プロジェクトの大阪市中心に、また、12月7日(金)には、

が今月以降も



「クリエイティブ・アイランド・ラボ 中之島」特設ウェブサイト  
<https://nakanoshima-lab.jp>

## アートエリアB1と 中之島の文化拠点が コラボする思考実験

中之島全体を「創造的な研究所」に見立て、15の施設と連携企画を行うというもの。すでに7月からスタートしており、いよいよ12月16日(日)、シンポジウムとして位置づけるシンポジウム「クリエイティブ・アイランド—創造的都市の本質とは何か—」を開催。世界のアートシーンから注目を集める香港の美術館「M+」の副館長兼チーフ・キュレータードリュン・チョン氏を招き、中之島を創造的な場所にするための可能性を探る。

公会堂とのコラボ企画である「森村泰昌の『映像—都市—論—』も行われる。北加賀屋にミュージアムをオープンして話題の森村氏とのトークに加わるのは、アーティストの卯城竜太氏と建築家の高岡伸一氏。どんな展開になるのか読めない、だからこそ楽しみにイベントが今月以降も

大阪水上バス・岸田俊徳の

## 水辺で会いましょう



大阪水上バス株式会社企画宣伝部課長。ミナミの劇場プロデューサーを経て、関西・大阪21世紀協会にて大阪の文化事業に関わる。2010年より現職。

### 「平成最後のクリスマス」

ずっと続くか、意外と早く飽きるかは別にして、誰でもマイブームをお持ちだと思います。僕の今のマイブームは「赤玉スイートワイン」。一昔前は「ポートワイン」と呼ばれていた商品です。

中之島近くに本社を構える飲料メーカーの初期の商品で、今年で発売から111年になるそうです。生まれた時からあったワインですが、今まで飲んだことなかった。でも、それは好き嫌いではなく出会いがなかっただけ。最近、近所のスーパーで目が合って以来、炭酸割りやホットでお付き合いしています。



実は大阪の観光船についても、ご存じの方は多いものの、乗ったことがある方が少ない。これはまさしく出会いがないからでは！ 今年のクリスマスは平成最後の一大イベント。いろんな思い出づくりに予定を組まれますが、ここでご提案。いつか出会えるのではなく、この機会に観光船に会いに来ませんか？ 大阪水上バスでは、クリスマスやカウントダウンのイベントを各種ご用意しております。ぜひお越しくださいませ！



大阪水上バス クリスマス

☎0570-035-551



http://suijo-bus.osaka/

○詳細は大阪・光の饗宴2018 ホームページにて <https://www.hikari-kyo-en.com/index.html>

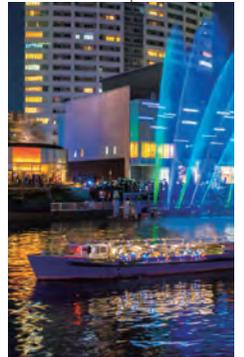
### 御堂筋イルミネーション2018

日程／12月31日(月)まで  
時間／5:00PM頃～11:00PM  
場所／御堂筋  
(阪神前交差点～難波西口交差点)



### 中之島ウエスト・冬ものがたり2018 中之島ウォーターファンタジア

日程／12月13日(木)～12月25日(火)  
時間／6:00PM～9:00PM(ショーは10分間隔で開催)  
場所／福島(ほたるまち)港

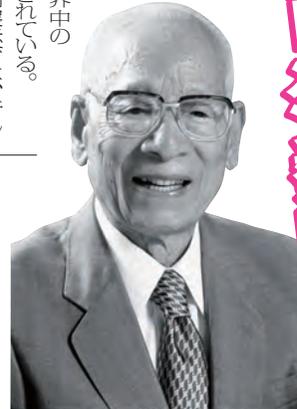


「發明はひらめきから。ひらめきは執念から。執念なきものに發明はない」という信念のもと、インスタントラーメンを發明した日清食品の創業者・安藤百福。大阪企業家ミュージアムでは安藤百福の特別展示を開催している。

戦中・戦後の食糧難の時代に、「食」こそが人間が生きていくうえで一番大切であると確信した安藤氏は、「お湯をかけるだけで食べられるおいしいラーメン」の開発に没頭。そして生み出された世界初のインスタントラーメン「チキムリ」な企圖だ。

大阪企業家ミュージアム特別展示は  
インスタントラーメン發明者の挑戦

「『食足世平』の實現に生涯をかけた企業家 日清食品創業者 安藤百福」  
開催期間／2019年2月20日(水)まで  
開館時間／10:00AM～5:00PM (水曜～8:00PM) ※入館は閉館30分前まで  
休館日／日・祝・月曜  
2018年12月27日～2019年1月4日  
見学料／大人300円(入館料を含む)  
問い合わせ ☎06-4964-7601





# 「ソムリエが厳選したワインと こだわりの赤身肉を存分に召し上がってください」

東京に7店舗、名古屋に1店舗と店を展開し、この度、満を持して大阪、中之島に初出店しました。

うちの売りは何と言ってもワイン。ソムリエが厳選した約80種類のワインを、ほぼ仕入れ価格で楽しんでいただける会員価格システムをご用意しています。ボトルワインをご注文いただくと、まず銘柄や産地、味の特徴が書かれたワインカードをお渡しします。その際、プラス200円で「シルバー会員」になっていただくと、ワインカードを入れるケースをお渡しするのですが、その中にはワインカードが1枚、プレゼントとして入っています。

以降はボトル1本ごとにカードを1枚ずつお渡ししており、10枚貯まって「ゴールド会員」になると、全種類のワインがほぼ仕入れ価格でお楽しみいただけます。例えば、イタリアのシヤルドネは通常3000円前後ですが、ゴールド



国産牛カメノコのグリル(150g/2,149円)。赤身と言っても、カメノコ(写真)、マルカワ、シンシントモサンカクと4種類の部位があり、「きめ細やかな肉質で脂身の少ないカメノコとマルカワが特に人気です」。

会員なら5000円ほどに。カードケースやゴールド会員証はご登録以外の方とも共有できますので、会社やお仲間でも

年、赤身肉は脂質が少なくビタミン豊富で高タンパクな部位として注目されています。国産のものでは4種類の部位をご用意し、それぞれ



ワインと赤身肉をたっぷり召し上がれ

## [WINEHALL GLAMOUR 中之島] 主任 佐々木博茂さん

「どうやって儲けているの?」とご心配いただくこともありますが、月にお客様からは仕入れ価格でワインを提供して、「美味しくいただくための」を大切にしています。

「美味しくいただくための」を大切にしています。

つくっていたりと大変お得ですよ。料理は赤身肉のグリルを中心に、タパスやアヒージョなどジャンルにとらわれず、ワインに合うお料理を手頃な値段で種類豊富に取り揃えております。ここ数

に1回来られる方が気に入って2回3回来てくださるようになったり、SNSなどで「安くて美味しい」と広めていただけたら。まずはお店のファンになって支えていただければと思っております。



祝祭へようこそ。



<http://festivalplaza.jp/>  
提供/株式会社 朝日ビルディング

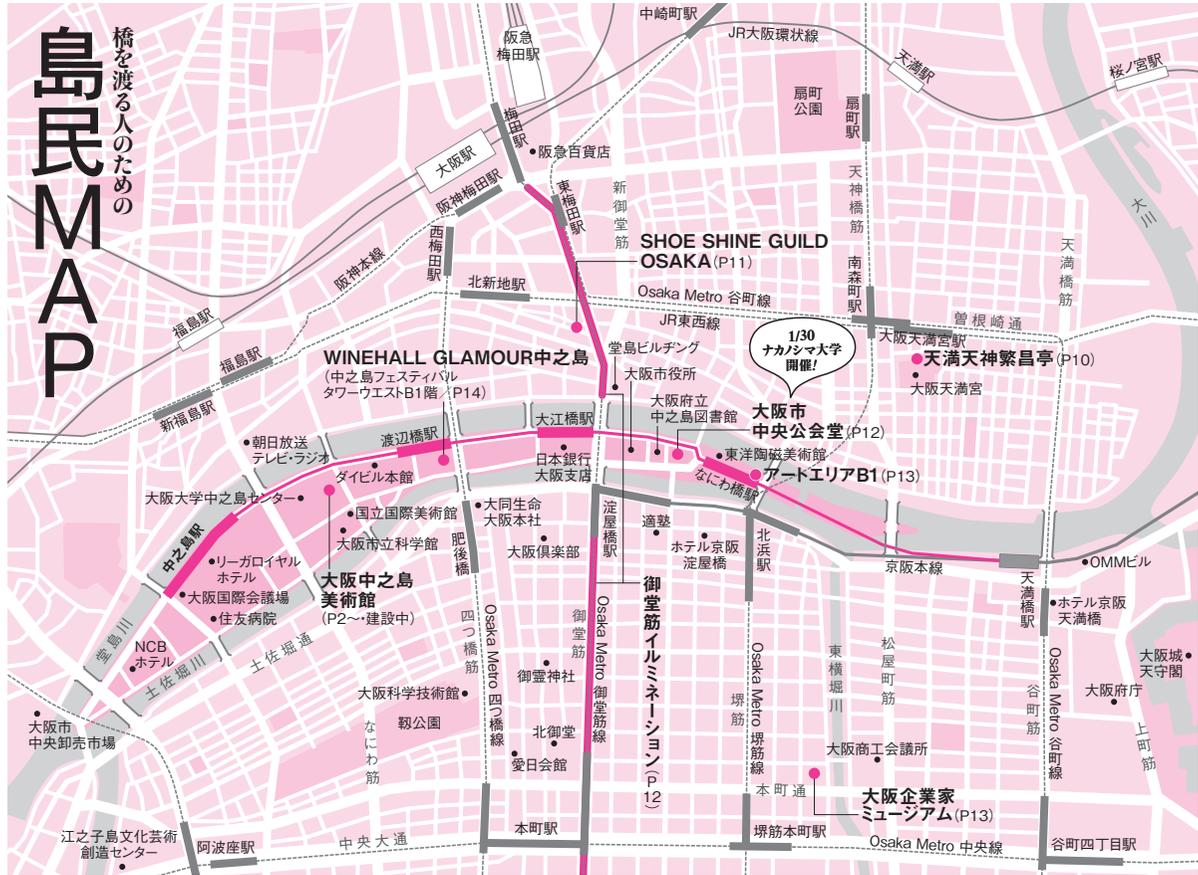
Information from ミート&ワイン WINEHALL GLAMOUR 中之島  
[中之島フェスティバルタワー・ウエストB1階]

赤身肉や熟成肉とワインが気軽に楽しめる肉バル。華やかにベントニングされたにぎやかな店内で、会社の仲間とわいわい盛り上がるのもよし、カウンターでひとり飲みもよし。会員価格システムを利用して、ほぼ仕入れ価格で思う存分ワインを楽しみたい。また、4:00PMまでランチが食べられ、人気の牛テキランチはディナーよりもお得(110g/880円)。ごはんとお味噌汁のお代わりも自由。  
☎06-4707-7177 11:00AM~11:00PM(フードLO10:00PM)



# 島民MAP

橋を渡る人のための



## 『月刊島民』はここでもらえます。

- 京阪グループ 京阪電車主要駅/京阪特急プレミアムカー/ホテル京阪 淀屋橋/ホテル京阪 京橋 グランデ/パナテック阪天満橋/京阪シティモール/京阪モール
- 大阪市北区・中央区・福島区 [書店] 旭屋書店 梅田地下街店/大阪高森内ブックセンター/紀伊國屋書店 梅田本店・グランフロント大阪店・本町店/ジュンク堂書店/丸UZEN&ジュンク堂書店 梅田店/文教堂書店 淀屋橋店/隆祥館書店 [公共施設・大学関連施設など] アイスボット/朝日カルチャーセンター/味の素 食のライブラリー/朝日放送テレビラジオ/大阪企業家ミュージアム/大阪倶楽部/大阪工業技術専門学校/大阪国際会議場/大阪市中央公会堂/大阪市立科学館/大阪市立総合生涯学習センター/大阪府役所市民情報プラザ/大阪城天守閣/大阪商工会議所/大阪大学中之島センター/大阪21世紀協会/大阪府立中之島図書館/大阪ボランティア協会/大阪歴史博物館/追手門学院 大阪梅田サテライト/川の駅はちけんや/関西学院大学 大阪梅田キャンパス/慶應大阪シティキャンパス/国立国際美術館/CITYNAIL'Sインターナショナルスクール/芝川ビル/市立住まい情報センター/少彦神社/中央電気倶楽部/適塾/ドーナカ/ホテルNCB/メビック扇町/立命館大阪オフィス/龍谷大学大阪梅田キャンパス [店舗・医院など] アンドール 本町本店/上町貸自転車/Ultra 2nd/江戸前鯉料理 志津町/天満橋鍼灸整骨院/MJB珈琲店/エルマーズグリーン コーヒーカウンター/大西洋飯店/OOO(オー-)/カセッタ/喫茶センター/喫茶SAWA/グラスコート中之島/黒門さかえ/コモンカフェ/The Court/サトウ花店 中之島本店/ザ・メロディ/シアルベストコーヒー新聞電ビル店/じろう亭/Girond's JR/心齋橋山田兄弟歯科/住友病院/セブンイレブン大阪証券取引所店/タビエスタイル/たまがわ鍼灸整骨院/東郷歯科医院/NAKAGAWA1948 淀屋橋店/ナンジャーノ/バスターレ/花かつ/BAR THE TIME 天神/平岡珈琲店/ビルマニアカフェ/FOLK/フレムハウス/ミニジロー/宮崎歯科/やきとりばかや/吉田理容所/LES LESTON
- 大阪市内その他 [書店] 旭屋書店 なんばCITY店/紀伊國屋書店 京橋店/喜久屋書店 阿倍野店/ジュンク堂書店 難波店/福島書店/柳々堂/ループル書店 [公共施設・大学関連施設など] 大阪科学技術館/大阪市社会福祉研修・情報センター/大阪市立中央図書館/大阪府立江之子島文化芸術創造センター/川口基督教會 [店舗・医院など] あじさい/アートアンドクラフト/欧風食堂 ミラール/大阪シティ信用金庫 江戸堀支店/御舟かもめ/カルチャーカフェ上/Calo Bookshop and cafe/写真とプリント/鳥かごキッチン/ネイルサロン スワン/バルビコ/ホテル64オオサカ/MANGUEIRA/Loop A
- 大阪府下 旭屋書店 京阪守口店/学運堂/Books 呼文堂/水嶋書房 千住/本町店/大阪狭山市立図書館/大阪市立難波市民学習センター/大阪大学企画部広報・社会学連携事務局/大阪大学 21世紀懐徳堂/大阪大学本部/大阪府立中央図書館/摂南大学 地域連携センター/野村呼文堂/郵政考古学会/ゆたらんこ/連携者 児童子
- 大阪府以外 ジュンク堂書店 西宮店/恵文社 一乗寺店/水嶋書房 丹波橋店/伊丹市文化振興財団/川のほとりの美術館/納屋工房/タバーン・シンパソノ/百練/奈良県立図書館情報館/龍谷ミュージアム
- 東京 往来堂書店(千駄木)/BOOKSル- (吉祥寺)/B&B(下北沢)/隣町珈琲(原宿中庭)/ONLY FREE PAPER(東小金井)/かもめブックス(新宿)

## ◎バックナンバーが見られます。

最新号の発行と同時に、ひとつ前の号がweb上で閲覧できるようになります。創刊号から見た方はこちらから。<https://nakanoshima-daigaku.net/about/tomin/>

## ◎定期購読も受け付け中です。

毎月確実に読みたい方は、ぜひお申し込みください。まずは下記の電話番号までお問い合わせ下さい。

## 次号予告 この碑、なんの碑?

記念碑に句碑に文学碑などなど、「碑」のつくものが多い中之島。それはいわば歴史の入口。身近なところから街を知ろう。

●『月刊島民』vol.126は2019年1月1日発行です!

編集・発行人/大迫力(株式会社140B)  
 編集・発行/月刊島民プレス  
 若狭健作 網本武雄(株式会社 地域環境計画研究所)  
 松本 創 道田恵理子 山國恭子(株式会社140B)  
 〒530-0047 大阪市北区西天満2-6-8 堂島ビルディング602号  
 TEL.06-6484-9677 FAX.06-6484-9678  
 制作進行/堀西 賢(ALEGRESOL)  
 デザイン/山崎慎太郎  
 表紙イラスト/奈路道程  
 印刷/佐川印刷株式会社

おけい庵  
三條けい子

こんどの  
おけいはんは  
旅館の娘  
なんやつて。



京阪で、おこしやす。

<https://www.okeihan.net>

京阪の  
おけいはん。